

# 運動玩具遊びと環境

## 巧技台遊びと環境

### テーマ設定理由

散歩に出かけ、日々の体力作りの向上に努める登園の特徴を活かし、「遊びと環境」をテーマと設定する。チャレンジしようとする気持ちを引き出し、走る・蹴るジャンプする・転がる・ぶら下がる・くぐるなどさまざまな動きを経験する。

### 問いを考える

巧技台やトランポリンという道具が身体を動かすという目的だけではなく、子ども達の発想により、遊びを発展させるツールとしてどのように使用できるか観察する

### 活動期間

令和6年7月～令和7年3月

### 対象クラス

1歳児 8名      2歳児 9名



はしごの下に入って足を持ち上げ、「見てみて～、おさるさん」だよ。と遊びを無限に広げる子どもたち

### 環境をデザインする

巧技台・トランポリン・車・布・本・リボン等身近にあるもの

# 活動内容

7月から10月上旬は運動会に向けて、競技に合わせた組み方で、各クラスの子ども達の発達・身体能力に合わせ、バランス感覚とジャンプ力の動きを取り入れ、子ども達の運動能力や心身の成長を促した。



巧技台でインタビューごっこ  
「今からジャンプするよ～！！がんばります。」



「頑張ってー！！」と声援を送るお友達に手を振って答えます。



ドキドキするのは当たり前、手を握ることでお友達が見守る中、巧技台からジャンプに挑戦することができました。

10月中旬は以降は巧技台と用途の違う、布・本・車・リボン・パーテーション等を置き、どういう展開をして遊ぶのか観察する



布を組み合わせ  
お友達とベットに見立て  
「おやすみ～」と言って寝る



テーブルにして  
本を読む



ハシゴを線路に見立てて遊んだり、パテーションで区切って「ここはお風呂なの、ここは鍵でこうやっての～。“チャポ”」と言ってお風呂に入る真似をしたり、布で拭いて「お掃除するの～」とごっこ遊びを展開していた。



滑り面と凸凹滑り面の  
違いを比べる子ども達



凸凹滑り面では  
「お尻がボコボコするね。  
シューって滑らないね。」



「ペンギンさんも止まっちゃった」



凸凹滑り面ではボールを転がして「シューじゃないよ、ポンポンだよ」  
ボールが弧を描くように弾んで滑り落ちることを発見。違いを比べていた。



## 振り返り

決まった使い方にとらわれず、開放的な環境作りをし、見守る姿勢を重視したことで、子どもたちが自由な発想で遊びを展開していた。これらの環境支援において、大人が「答えを与える人」ではなく、「共に発見する人」としての姿勢が大切であると学んだ。今後も子どもたちの探究心に寄り添い、時には見守り、必要に応じてサポートをしながら好奇心を大切に環境設定を行っていく。